

中嶋伊次郎・大坂商人と互角に商売

隈府町の豪商に中嶋屋があり、中嶋伊次郎は、隈府町庄屋や町別当を勤めた諸役人段・郡代直触の金納郷士でした。江戸中期の「肥後孝子伝」後編には、伊次郎が「業兼徳」即ち実業家で有徳者として紹介され、「先祖附」によれば、産業・農業・養蚕に心懸け、度重なる穀類・衣類・鳥目の差出し、粟寸志・火事心附などの窮民救済でも褒賞されています。

その伊次郎が、安永六（一七七七）年四月から享和二（一八〇二）年六月までの二十六年間、記録し続けたのが『御触状控帳』の全一七巻で、「嶋屋日記」全八巻とともに数少ない在町隈府の第一級資料となっています。

九州大学文化史研究所蔵の「宇土細川家文書」に紛れ込んでいた、寛政七（一七九五）年頃の中嶋伊次郎の書翰を発見したことがあり

ます。隈府在住の伊次郎のもとに、大坂の「尼崎屋」の平兵衛と夫兵衛から、肥後米や肥後の餅米・大豆の「相庭」（相場）、諸国の菜種子の植付け・豊凶状況、全国の小豆・小麦・両国種子・樺実・水油などの相場、大坂の銀・銭交換比率などを、直接リアル・タイムで知らせた内容でした。

また、取引上のトラブルに関し



御触状御達控

ても、「先達指引目録間達の義度々被仰下候へ共、兎角分り兼候處、今度御調書引合せ候所、成程二重附二御座候。扱々鹿相の段御免可被下候」とか「算用達の義、其上御内意の趣意被仰下、御深慮かたじけなく 奉存候」などの返信もあり、大坂商人といえども、在町隈府の商人たちを無視できなかったことがわかります。

江戸期の隈府町の繁盛は、肥後藩内でのことと思いますが、これらの書翰から、隈府町の相場は大坂に直結し、隈府商人は常に大坂相場の変動から眼を放さず、大坂商人とタイ・アップして、儲かる産物を菊池一帯で仕入れ搬送していたことがわかります。大坂商人と互角に商売する、何とも頼もしい「隈府商人魂」の一端を垣間見た思いがします。

（文責）社会教育指導員

堤 克彦

携帯電話は都市鉱山です



携帯電話や充電式電池（があるもの）に希少資源が含まれていることを知っていますか。携帯電話からは、金、銀などが、充電式電池からは、ニッケル、コバルトなどが再資源化できるのです。

例えば、金を鉱山から採掘する場合、鉱石1トンから5～10グラムしか取り出せませんが、携帯電話1トンからは300～400グラムが取り出せます。限りあるこの希少な資源をムダなく使うために、メーカーは無料で回収してリサイクルを行っていますので、**袋ごみとして出さずに、店頭回収の利用を**お願いします。

※が無い電池は、袋ごみで出してください。



問い合わせ先

環境課、各総合支所
民生課衛生福祉係

「花いっぱい・緑いっぱい」運動に参加団体募集

くまもと緑・景観協働機構では、県内の緑化活動を促進するため、地域の団体がボランティア活動により緑化事業や花いっぱい運動を行う場合に、苗木・植木などの経費の助成や花の種の支給を行っています。

内容 緑化ボランティア 苗木、樹木

花いっぱい 花の種を年2回配布します。

※他に沿道景観緑化助成・屋上等緑化助成もあります。

対象 道路、公園、公民館などの公共用地への植栽
申請方法など 菊池市役所都市整備課に備えてある「申請書」に必要事項を記入の上、申し込んでください。詳細は問い合わせください。

問い合わせ先 くまもと緑・景観協働機構事務局（県庁都市計画課内）

☎096（333）2524

または 菊池市役所都市整備課



人権同和教育シリーズ 39

友達

七城中 園田 傑

小学校4年生の春、僕は引越して新しい学校に行きました。転校したので。それは、親の仕事の都合での転居で、今まで暮らしていた七城町から福岡の久留米に行くことになったからです。

ほんの一カ月くらい前に知らされたこともあり、僕はショックでした。「いじめられたらどうしよう、せっかく友達ができたのに・・・」と、不安ばかりが大きかったです。

最初、友達は誰もいませんでした。転校した先は、3年生からの持ち上がりクラスでした。「友達の輪」ができていて何となく入りにくく、クラスの人に話しかけたけれど、その友達と遊んだためしはありませんでした。家の近所にも同級生がいなくて、寂しかったです。

僕は、とにかく相手から話かけて来るのを待ちました。けれども同級生はなかなか話かけてきませんでした。転校するまでは、毎日遅くまで元気に外で遊び回っていた僕が、家の中でテレビゲームやマンガ本を読んで過ごすことが多くなりました。

そつするうちに半年が経ちました。やっと友達らしい友達ができました。友達が一人でもできると、一気に他の友達も増えてきます。その時は、心の中、本当に「友達はいいなあ」と思い、とっても嬉しかったです。

友達が増えていくにつれて、よく考えてみるととても損をしていたことに気がきました。なぜかという、友達ができなかったあの半年間、僕には思い出しにくい思い出がほとんどありません。何があつたかもよく覚えていないのです。当時、あまり深くは考えないようにしていましたが、何となく学校に行っていただけで、本当はあんまり学校に行きたくなかったのだと思います。

僕は学校は友達との交流を深める場所だと思っています。友達がいないと勉強もおもしろくないし、教え合ったりできないから分かんなくなります。休み時間に友達と遊べず、机にずっと座って黙っていると、学校がとてもつまらなくなります。そして自分が必要ではない人間のようない感じがしてくるのです。何でも話せて、そして自分の思いを伝え合うことのできる友達はやっぱり大事な宝物だと思います。

3年経って、七城町に戻ることになったとき、僕はまたまた大ショックでした。知っている人がたくさんいるところなので、その点は安心でしたが、久留米にもたくさん友達ができ、毎日楽しく暮らしていたからです。友達と離れるのは悲しかったです。やはり、転校はもうしたくないと思っています。思い出したくないつらいことでしたが、今こうやって振り返ってみると、この転校の経験は、僕の心の成長につながったと思ってもいいです。だから僕は、もし、この七城中学校に転校生が来たら、すぐに友達になろうと思っています。

あの時の僕のように、相手が話しかけてくるのをただじっと待つではなく、自分から積極的に話しかけていこうと思っています。そつすればその人が、遊び相手や話し相手がいなくてつらい思いをしたり、楽しくない学校生活を送らなくてすむからです。できれば、あんな感じがしたいと思っています。そして、僕がこれから、新しく出会った人にも積極的に話しかけ、どんな友達を増やして、楽しく、悔いのない生活を送っていききたいと思っています。そのことがこれからの、僕の心の豊かさにもつながっていくと信じています。

「人権に関する市民意識調査」への協力をお願いします

私たちの周りには、同和問題をはじめさまざまな人権問題があります。この人権に関わる問題は、憲法が保障する基本的人権の侵害にかかる深刻で重要な問題であり、その解決のために市としてもさまざまな施策を展開してきました。

今後も一人ひとりが大切にされる「差別のない明るいまちづくり」のため、主体的かつ積極的に人権教育・啓発活動を推進していくことを目指しています。

そのため、市民の人権問題に対する理解と認識の状況を把握し、今後における人権教育・啓発の効果的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的として「人権に関する市民意識調査」を実施します。

回答していただく皆さんは、市内の20歳以上の人から2,000人を無作為抽出法によって選び、調査は無記名でお願いいたしますので、個人の回答内容が分かったり、他の目的に利用したりすることは一切ありません。

なお、回答いただく皆さんには、**8月下旬に調査票を郵送により配布**します。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。
問い合わせ先 人権啓発課

平成20年度排水設備工事責任技術者資格認定共通試験

排水設備の新設などの工事施工に必要な排水設備工事責任技術者の資格認定共通試験が、日本下水道協会熊本県支部により、次のとおり開催されます。

受付期間 8月11日（月）

～8月29日（金）

受付場所（財）熊本市下水道技術センター

〒860-0806 熊本市花畑町3-1

受験講習会

・9月30日（火）やつしろハイモーターホール（八代市）
・10月2日（木）フードパル熊本（熊本市）

試験日 10月12日（日）

試験会場

熊本学園大学（熊本市）

問い合わせ先

日本下水道協会熊本県支部

☎096（211）2627

（財）熊本市下水道技術センター

☎096（3280）2625